

議会広報広聴委員会

令和3年11月19日（金）
議会運営委員会終了後
全 員 協 議 会 室

【出席者】三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
【事務局】近重係長、小寺書記

議題

1 はまだ議会だよりVol. 64について……………資料1

- (1) ページレイアウト
- (2) 掲載記事及び原稿提出締切
- (3) その他

2 はまだ議会だよりminiについて……………資料2

- (1) 第10号掲載内容及び原稿担当
- (2) その他

3 申し送り事項の確認について……………資料3

- (1) 申し送り事項確認
- (2) その他

4 その他

- (1) まちづくりセンター担当決め
- (2) その他

議会広報広聴委員会 申し送り事項

1 はまだ議会だよりについて

親しみやすく、読みたくなる紙面を意識し、Vol.59 から内容及びデザインをリニューアルした。特に新たに始めた取組に関しては、課題を修正しながら、一層の改善を図られるようお願いしたい。

【リニューアルから採用した新しい項目】

- ・ 市民対談
- ・ 読者アンケート
- ・ 委員会活動レポート
- ・ はまだ議会だより mini など

2 議会報告会等の開催について

新型コロナウイルス感染症対策のため、近年取り組んできた形式での議会報告会に代わる方法を用いた。いずれも参加者の満足度が高かったことから、今後の状況を踏まえ、引き続き実施検討をお願いしたい。

【はまだ市民一日議会】

各議員からの感想や反省点を参考にされ、次回以降の実施及び要領等について検討されたい。

- ・ 議員の発言に関するルール
- ・ 位置づけの整理（基本条例への明記の必要性、開催頻度） など

【地域協議会との意見交換会】

各地域からの継続要望を踏まえ、開催方法について検討されたい。

- ・ テーマの選定方法
- ・ 開催時期・時間・頻度
- ・ 聴取した意見の取扱いの整理 など

3 市議会 HP

掲載情報の改善やスマホへの対応等の必要性は認識されているものの、具体的な検討には至らなかった。情報発信の充実の観点からも引き続き検討をお願いしたい。

議会広報広聴委員会 活動方針 (2021-2023)

2021年11月19日

議会広報広聴委員会
委員長 三浦大紀

2年間を振り返って

- ・ はまだ市民一日議会の開催
- ・ 議会だよりのリニューアル
- ・ 議会だよりのminiの発刊
- ・ 地域協議会との意見交換会の開催 など



YouTube
再生回数

1744回

* 年11月12日現在

応募者層

10代
~ 80代

応募者数

18名

満足度

90%

市議選
立候補者数

2名



アンケートで
寄せられた要望数

42件

はまだ議会だよりのリニューアル



発行回数

4回 → 12回

議会だより miniの発刊

活動方針

前委員会から申し送りのあった事項を踏まえ、それらに継続して取り組むとともに、「わかもの」を意識した活動を新たに取り入れながら、議会に対する理解促進を図る。

- 1、広聴：市民の声を聞き、政策に反映させるための情報収集
- 2、広報：収集した情報をどのように扱ったかを知らせるための情報提供

1、広聴：市民の声を聞き、政策に反映させるための情報収集

①収集情報の増量

▶議会に対する発言時間の確保（井戸端会議の見直しor市民スピーチの開催）

→地域協議会との意見交換会の開催、はまだ市民一日議会の開催、常任委員会への申し入れ

課題①：地域協議会との意見交換会の進め方の整理 ￥：★

課題②：はまだ市民一日議会の継続を踏まえた要項やルールの整理 ￥：★

課題③：上記取組の整理と合わせた議会報告会（井戸端会議）の実施検討 ￥：★

* 常任委員会における広聴機能の強化

②（議会における）反映度の向上

▶政策討論会の活性化（政策形成サイクルの定着）

→常任委員会での回答検討の定着化

課題①：常任委員会以外の枠組み設置可能性の検討 ￥：★

課題②：意見・要望の取り扱いについての整理 ￥：★

2、広報：収集した情報をどのように扱ったかを知らせるための情報提供

①提供情報の増量

▶ミニ広報のウェブ配信

年4回の議会広報では伝わりにくい議会活動の合間の時期に、議会HPをつかって情報を発信（低コスト）。

意見交換会や定例会以外に開催された委員会情報、視察報告、議長の公務状況など、情報発信頻度を高める。

→議会だよりminiの発刊（web版）

・課題①議会だよりminiの存在アピール（本誌との連動強化 など） ￥：★

▶各議員のウェブサイトをクリック

個別の活動内容も分かるように、ウェブサイトやSNSのリンクを提案

→リンク掲載

▶webのリニューアル

わかりにくい階層の解消、リンクの貼り直し など

→既存サイトでの見直し

・課題①：見やすさ、わかりやすさを意識したリニューアル ￥：★★★

・課題②：スマホ閲覧への対応（最適化） ￥：★★★

②情報の平明化

▶議会だよりの追加見直し（提供情報の整理）

メディアとしてのあり方を再度検討。読み物としての質を高める。

→紙面のリニューアル（新企画設置、読者アンケートの実施、制作プロセスの見直し、webとの連動性強化 など）

・課題①：新企画等の効果検証 ￥：★

▶議会活動PR動画の制作

活動の状況をよりわかりやすく動画で紹介 など

3、主権者教育の推進

3. 議会による主権者教育やシティズンシップ教育の推進

幼児・小学生・中学生・高校生の時から主権者教育をはじめ、ふるさと郷育や地域体験等、様々な機会を通じて、一人ひとりが浜田市にとって大切な存在であり、将来、地域のために何が必要で、何が自分にできるかの気づきを持ってもらったり、まちづくりや政治、議会や議員の役割について関心を持ってもらったりすることが重要である。

このため、小中高校生や大学生等を対象とした模擬会議の開催や高校生による政策甲子園、教育現場に議員が直接出向いて講義する議会出前講座等の開催を検討されたい。

* R30702議会改革推進特別委員会資料より

小中高などとの接点確保

手法によっては行政や学校の協力も必要になるため、関係者との協議が必要。＊具体的手法は今後検討。

（取り組み例）

- 1：模擬選挙の実施（実際の総選挙と同じ方法で行われている）
- 2：学校課題（各党の立場や主張を、実際の選挙の場で調べる）
- 3：学校会議（生徒、校長、教員、保護者、外部から構成されており、学校の行事や規則などを決定する）

<https://www.katsuiku-academy.org/media/active-citizenship/#title2>

- 4：市議会見学の見直し
- 5：わかりやすい政治解説冊子の作成 / 議会だよりでの解説 など

スローガン

【2021 – 2023】

より

“ 議会を身近に ”

～双方向の関係構築～

【2019 – 2021】

“ 市民の声を第一に ”

～聴くことから始めよう～

No.	地区	センター名	担当委員
1	浜田	浜田まちづくりセンター	
2		石見まちづくりセンター	
3		長浜まちづくりセンター	
4		国府まちづくりセンター	
5		周布まちづくりセンター	
6		美川まちづくりセンター	
7		大麻まちづくりセンター	
8	金城	雲城まちづくりセンター	
9		今福まちづくりセンター	
10		波佐まちづくりセンター	
11		小国まちづくりセンター	
12		久佐まちづくりセンター	
13		美又まちづくりセンター	
14	旭	今市まちづくりセンター	
15		木田まちづくりセンター	
16		和田まちづくりセンター	
17		都川まちづくりセンター	
18		市木まちづくりセンター	
19	弥栄	杵束まちづくりセンター	
20		安城まちづくりセンター	
21	三隅	三隅まちづくりセンター	
22		三保まちづくりセンター	
23		岡見まちづくりセンター	
24		井野まちづくりセンター	
25		黒沢まちづくりセンター	
26		白砂まちづくりセンター	